



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月14日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL http://www.sfoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 2021年10月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	170,277	6.9	8,066	33.8	8,438	36.8	5,594	△10.5
2021年2月期第2四半期	159,280	△8.5	6,027	28.6	6,166	23.7	6,252	157.7

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 6,851百万円(△1.5%) 2021年2月期第2四半期 6,958百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	176.98	—
2021年2月期第2四半期	197.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	179,154	100,291	52.3
2021年2月期	172,394	94,507	51.0

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 93,684百万円 2021年2月期 87,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2022年2月期	—	35.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	340,000	3.8	12,700	0.7	13,000	0.1	8,000	△19.7
								253.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	32,267,721株	2021年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	652,801株	2021年2月期	658,707株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	31,611,178株	2021年2月期2Q	31,670,789株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症対策としての緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期かつ広範囲にわたり発出されたことにより、日本の社会生活は、厳しい制約を受け続けました。一年延長されたオリンピック・パラリンピックを完遂したものの、ほとんどは無観客試合を強いられました。経済面においても、多くの業界において営業の短縮・停止や売上の不振など甚大な影響を受けました。当食肉業界においても、主に外食やレジャーの不振による影響を強く受けました。

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売り・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っている総合食肉企業集団として、食肉商品の安定的供給と事業継続および雇用の安定に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、需要と供給のバランスが崩れ、商品相場が不安定な中、安定的に事業を継続することとお客様に商品を実践にお届けすることを主眼に諸施策を行いました。製品事業においては、コロナ禍での外出自粛による「自宅で専門店の味を食べたい」というニーズに合わせ、「おうち外食」をコンセプトに家庭向け製品開発と拡販に取り組みました。また、仕入れ、生産、販売の各職場において、感染防止のための衛生管理の徹底、勤務体制の見直しなどを行い、業務の遂行に支障が発生しない環境の整備を徹底しました。加えて、新型コロナウイルス感染症に関する社内啓蒙活動を行い、ウィズコロナにおける事業のあり方も模索しました。

食肉等の小売事業においては、対策本部において意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、2021年4月の三度目の緊急事態宣言とまん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業や時短営業を余儀なくされる事態となりました。今後とも当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、昨年に引き続き小売店向けの販売が好調に推移したことなどにより、売上高1,702億7千7百万円（前年同四半期比6.9%増）、営業利益80億6千6百万円（前年同四半期比33.8%増）、経常利益84億3千8百万円（前年同四半期比36.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益55億9千4百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,555億2千5百万円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント利益は79億5千4百万円（前年同四半期比37.8%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は120億3千8百万円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント利益は7億6千2百万円（前年同四半期比20.7%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は19億6千3百万円（前年同四半期比17.8%減）、セグメント損失は2億2百万円（前第2四半期連結累計期間1億7千1百万円の損失）となりました。

④その他

売上高は7億4千9百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益は2千3百万円（前第2四半期連結累計期間5千6百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて67億6千万円増加し、1,791億5千4百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加及びたな卸資産の増加と現金及び預金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて9億7千5百万円増加し、788億6千3百万円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴う仕入債務の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて57億8千4百万円増加し、1,002億9千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、本年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,284	35,287
受取手形及び売掛金	32,754	35,585
商品及び製品	20,286	27,594
仕掛品	1,630	1,744
原材料及び貯蔵品	3,965	3,971
その他	3,550	4,340
貸倒引当金	△61	△73
流動資産合計	102,409	108,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,371	56,222
減価償却累計額	△25,795	△27,048
建物及び構築物（純額）	29,575	29,173
土地	15,152	15,252
その他	34,501	35,658
減価償却累計額	△23,676	△24,749
その他（純額）	10,825	10,909
減損損失累計額	△3,162	△3,237
有形固定資産合計	52,391	52,098
無形固定資産		
のれん	100	357
その他	537	558
無形固定資産合計	637	916
投資その他の資産		
投資有価証券	13,220	13,934
退職給付に係る資産	118	130
その他	3,823	3,826
貸倒引当金	△206	△200
投資その他の資産合計	16,955	17,691
固定資産合計	69,984	70,705
資産合計	172,394	179,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,032	28,276
短期借入金	7,825	8,917
未払法人税等	3,578	2,053
賞与引当金	1,023	1,270
その他	12,107	10,660
流動負債合計	48,568	51,177
固定負債		
社債	550	500
長期借入金	24,052	22,625
役員退職慰労引当金	220	164
退職給付に係る負債	1,928	1,948
その他	2,568	2,448
固定負債合計	29,319	27,685
負債合計	77,887	78,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,723	18,739
利益剰余金	62,805	67,388
自己株式	△414	△410
株主資本合計	85,412	90,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,826	3,300
繰延ヘッジ損益	△3	16
為替換算調整勘定	△281	338
退職給付に係る調整累計額	15	14
その他の包括利益累計額合計	2,557	3,669
非支配株主持分	6,536	6,606
純資産合計	94,507	100,291
負債純資産合計	172,394	179,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	159,280	170,277
売上原価	134,263	142,864
売上総利益	25,016	27,412
販売費及び一般管理費	18,988	19,346
営業利益	6,027	8,066
営業外収益		
受取利息	37	8
受取配当金	240	293
受取家賃	66	66
持分法による投資利益	14	4
その他	240	217
営業外収益合計	599	589
営業外費用		
支払利息	135	131
アレンジメントフィー	106	—
為替差損	43	13
賃貸原価	53	23
その他	121	50
営業外費用合計	460	218
経常利益	6,166	8,438
特別利益		
固定資産売却益	4,050	2
投資有価証券売却益	12	2
補助金収入	185	270
受取補償金	3	1
特別利益合計	4,252	276
特別損失		
固定資産処分損	76	185
減損損失	43	19
店舗閉鎖損失	10	0
店舗休止等損失	216	216
固定資産圧縮損	181	—
その他	0	1
特別損失合計	529	424
税金等調整前四半期純利益	9,889	8,290
法人税等	3,460	2,557
四半期純利益	6,428	5,732
非支配株主に帰属する四半期純利益	176	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,252	5,594

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	6,428	5,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	632	481
繰延ヘッジ損益	8	19
為替換算調整勘定	△112	616
退職給付に係る調整額	5	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	3
その他の包括利益合計	529	1,119
四半期包括利益	6,958	6,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,763	6,706
非支配株主に係る四半期包括利益	194	145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,889	8,290
減価償却費	2,512	2,237
減損損失	43	19
のれん償却額	118	49
賞与引当金の増減額(△は減少)	182	235
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8	△7
受取利息及び受取配当金	△278	△301
支払利息	135	131
固定資産売却損益(△は益)	△4,049	△2
売上債権の増減額(△は増加)	3,986	△2,610
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,480	△7,317
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,071	4,129
補助金収入	△185	△270
受取補償金	△3	△1
未払消費税等の増減額(△は減少)	140	△919
その他	1,292	△795
小計	5,240	2,855
利息及び配当金の受取額	288	297
利息の支払額	△135	△131
法人税等の支払額	△2,268	△3,753
補助金の受取額	0	193
補償金の受取額	3	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,128	△536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	10
有形固定資産の取得による支出	△3,845	△1,658
有形固定資産の売却による収入	6,401	7
無形固定資産の取得による支出	△53	△101
投資有価証券の取得による支出	△5	△4
投資有価証券の売却による収入	27	20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△513
貸付けによる支出	△1,643	△666
貸付金の回収による収入	1,390	9
補助金の受取額	184	—
その他	7	82
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,463	△2,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,321	1,049
長期借入れによる収入	1,080	200
長期借入金の返済による支出	△4,210	△2,256
社債の償還による支出	△550	△50
子会社の自己株式の取得による支出	△17	—
配当金の支払額	△950	△1,010
非支配株主への配当金の支払額	△76	△75
その他	△49	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,452	△2,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,132	△5,083
現金及び現金同等物の期首残高	30,189	39,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,321	34,745

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	144,336	11,845	2,387	158,568	711	159,280	—	159,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,862	54	158	4,075	216	4,291	△4,291	—
計	148,199	11,899	2,545	162,644	927	163,571	△4,291	159,280
セグメント利益 又は損失(△)	5,773	961	△171	6,563	△56	6,507	△479	6,027

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△479百万円には、セグメント間取引消去157百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△636百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	155,525	12,038	1,963	169,527	749	170,277	—	170,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,917	2	219	4,139	336	4,475	△4,475	—
計	159,442	12,041	2,182	173,666	1,086	174,753	△4,475	170,277
セグメント利益 又は損失(△)	7,954	762	△202	8,515	23	8,538	△472	8,066

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△472百万円には、セグメント間取引消去193百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△665百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。